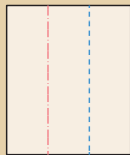


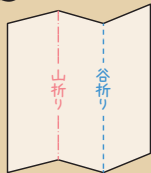
市内線 沿線マップ

沿線マップのつかいかた

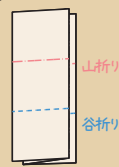
① 折り目をつける



② 折り目に沿って折る



③ 横も折る



④ 完成!



このマップを手にも、沿線を散策してみましょう♪

吉田城周辺

エリア



三河伝統 手筒花火

手筒花火は市勢の拡大とともに拡散し、氏子らによって五穀豊穡や無病息災、家運隆盛、武運長久を祈る各地区の奉納行事として、若者の勇気の証や成人となる門出の儀式として、脈々と民俗文化として伝承されてきました。現在豊橋市内では、豊橋祇園祭や羽田まつりといった祭礼のほか、校区や町内を単位とした形で、また新たな地域においても「手筒祭り」の復活と伝承が図られています。

手筒花火は、奉納者自らがその製造から放揚までの全行程を手作りで行うという数ある花火の中でも特異な伝承文化です。



※車や自転車などの通行に十分注意して散策しましょう

由緒ある神社・仏閣をめぐる

A 吉田城本丸跡



吉田城は、永正2(1505)年牧野古白が今川氏の命で、その前身の今川城を築いた事に始

まります。その後大永2(1522)年吉田城と改称され、これが宿場の名前となりました。現在の遺構は天正18(1590)年、徳川家康の関東移封により15万2千石で入封した池田輝政の縄張りによるものです。江戸期は9家22代の譜代大名が、輝政の遺構を守る形で明治期を迎えました。

B 吉田神社



古くは天王社と称した古社で疫病封じの神社でした。源頼朝、今川義元、徳川家康などの篤い崇敬を受けてい

ました。江戸期は城内の一角に鎮座し、吉田城の鎮守として歴代城主から30石を寄進され篤い保護を受けていました。毎年7月第3金曜～日曜にかけて祇園祭が行われ、境内での手筒花火、大筒花火、豊川河畔での打上花火、仕掛け花火が盛大に打ち上げられます。ここはまた「手筒花火発祥の地」といわれています。

E 築島弁天社



白鳳元(672)年の鎮座で、伊勢神宮の荘園の吉田御園に祀られた神社でありました。伊勢神宮に御衣を奉

献する御衣祭は元和元(1615)年に開始され、一時中断されましたが今日も続いており、神宮の式年遷宮に際しては内宮ないし外宮の藩垣御門を拝受する事を例としています。境内西隣にある山田宗偏作の池泉回遊式の「蓬莱の島」には、築島弁天社が「平成20(2008)年国の登録有形文化財に指定」とあります。また、芭蕉の句碑(旅寝塚)があります。「寒けれど 二人旅寝ぞ たのもしき」

炎の祭典

毎年9月第2土曜日に豊橋球場とその周辺で開催される、三河伝統の手筒花火をメインとしたイベント。伝統芸能、打ち上げ花火、仕掛け花火とともに約250本の手筒花火が放揚され、躍動の炎、感動の余韻が見る人々の心をつかみ、毎年遠方からも多くの見物人が訪れます。

◎手筒花火とは

手筒花火は、1メートルほどの竹筒に火薬を詰め、それを人が抱えながら行う花火である。手筒花火は、打ち上げ式ではなく吹き上げ式の花火で、その火柱は大きいものだと10数メートルにもなる。愛知県豊橋市の吉田神社が手筒花火の発祥の地とされ、三河地方、静岡県遠州地方で特に盛んである。(Wikipediaより)

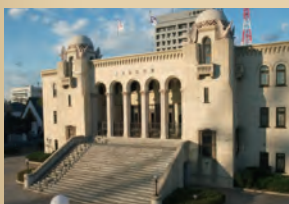


祇園祭

毎年7月第3金・土・日曜日に、吉田神社で開催される豊橋の夏の風物詩として親しまれている祭りです。三河伝統手筒花火発祥の地として知られる吉田神社境内で手筒花火約300本、豊川河畔で打ち上げ花火約12,000本を奉納。夜空を彩る勇壮な花火は、天空にひそむ悪霊を吹き飛ばす最良の方法と伝えられています。

川の中央部に浮かべられた浮島から、各種細工ものが飛び出します。浮島からの花火では「金魚花火」が見ものです。たくさんの金魚花火が、真っ赤な炎を上げながら一斉に水面を進む姿は、栈敷席ならではの楽しみです。

C 豊橋市公会堂



昭和天皇即位式記念事業として建築費17万円余を投じ、昭和6(1931)年に完成しました。鉄筋3階建て、収容人員601人の大講堂を有しています。ビザンチン的(東ローマ帝国の勢力下で興った建築様式)意匠が加味されたロマネスク様式(教会堂に多用された中世西ヨーロッパの建築様式)で、設計は浜松出身の建築家・中村興資平によるものです。平成10(1998)年に国の登録有形文化財に指定されました。

D 吉田山 龍拈寺



享禄元(1528)年、吉田城主牧野信成が亡父・古白追善の為に建立したとされています。境内には古白や、八世観世左近太夫の墓もあります。昭和20(1945)年6月の空襲でほとんどを焼失しましたが、唯一元禄年間に建てられた唐様(中国風)を主とする四脚の山門だけが残り、平成6(1994)年に豊橋市有形文化財に指定されました。

Information

豊橋鉄道オリジナルグッズ
駅名板キーホルダー

市内線営業所で販売中
500円

運賃(一律)
大人 150円
小人 80円

市内線1日フリー乗車券

3乗車以上で
お得!

豊橋鉄道市内線が
一日乗り放題に
なります!

大人 400円
小人 200円

発売所 ■ 市内線営業所(競輪場前下車すぐ)、
渥美線新豊橋駅、駅前電停券売機(大人のみ)、豊橋駅バスセンター